

2012年6月10日（日曜）

天城山（1406m）

レポート by 熊本

関東・北陸が6月9日（土）に梅雨入りし、終日雨であったが、一夜明けた10日（日）は朝から晴れ間が覗き天候の回復が見えた。9日から10日に急遽日程変更したため、天城山ハイクの参加者は田形さん、熊本の2名のみであった。一週間前6月1日（金）に同コースを下見した時から花の様子が一変していた。



東京駅 6:33 発のこだま 631 号で熱海へ。
熱海から伊東線に入り伊東駅に 7:45 着。



真っ先にバス停に向かったのが、我々は
先頭で後続に 20 名ほど並ぶ。



7:55 伊東駅を出発。東急リゾートが運行
するバスで、終点の天城ゴルフ場まで約
1 時間乗るが¥500 と安い。



ゴルフ場に近づくと野性の鹿何頭かを見かけた。



登山準備を整え 9:05 イヨイヨ出発



檜の樹林帯に入ると陽が差し込まないため、登山道の周辺は苔むして緑一色。



10 分ほど歩くとヒメシャラの木が出てきた。



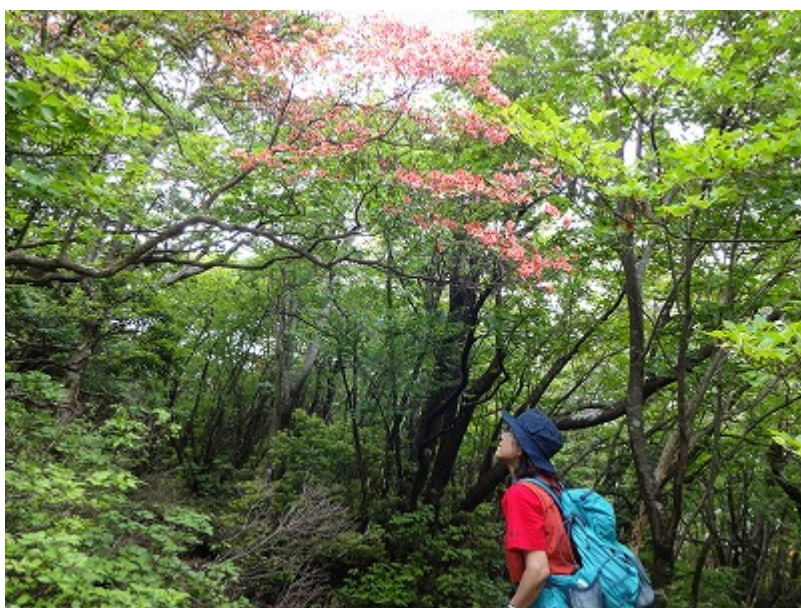
登山口から 20 分ほどで、万二郎岳、万三郎岳の分岐点である「四辻」に着く。本日の登山コースは先ず右の万二郎岳から万三郎岳に登り、この「四辻」に戻る周回コースの予定である。



「四辻」の周辺はヤマツツジの群生で、新緑の緑にオレンジ色が映えて美しい。しかし標高約 1000m 付近では、もうピークを過ぎたようだ。



40 分ほど経過すると勾配が急になり、背中から額から汗が流れ落ちる。



高度が上がってくると、ヤマツツジも瑞々しくなってきた。



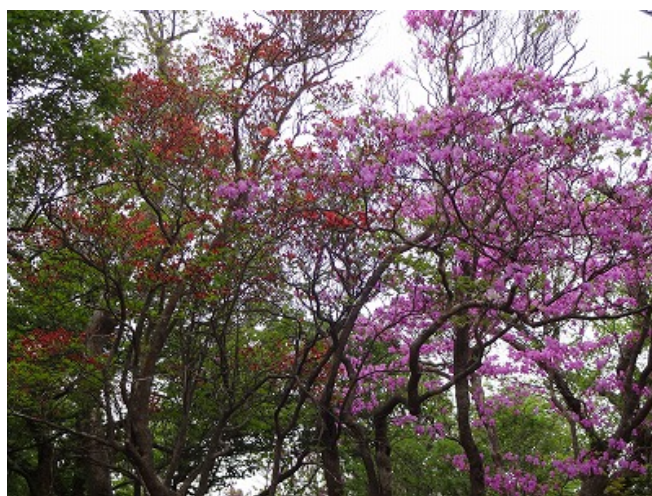
丸太の階段上の登山道は土砂が流されて登りにくい。



10:15 に 1320mの万二郎岳に到着。
出発から 70 分、水補給のみで殆ど休憩なしでここまで来た。



万二郎岳山頂にはヤマツツジのみで昨日の雨で、トウゴクミツバツツジは全部花を落としてしまった。



6月1日は紫色のトウゴクミツバツツジが満開であった。



水補給をして万三郎岳に向かう。
万二郎岳から一旦、急な下りがあり、昨日の雨で登山道が濡れておりスリッパに注意しながら降りる。



アセビのトンネルが暫く続くのだが、花は既に2ヶ月前に終わってしまっていた。



アセビのトンネルの登山道には、トウゴウミツバツツジの昨日の雨で全て落ちた花弁。



先週はこの辺りでも満開であったトウゴクミツバツツジ



アセビのトンネルを抜けると再び急な下り。岩の壁状の下りで両手、両足を使って安全確保しながら慎重に下る。

あ



下り切った鞍部が「石楠立」(ハナダテ)でこの辺りからアマギシャクナゲが出始める。何とか一輪のみ発見

先週1日のこの辺りのアマギシャクナゲ



万三郎岳直下でも石楠花を見つけるのがヤット。右の写真が先週撮ったもので、まだ蕾状態がいくつもあった。



11:15 天城山の最高峰1406mの万三郎岳山頂に到着。

ここで昼食を食べ休憩する。



万三郎岳山頂付近のトウゴクミツバツツジ左写真は今回（10日）、右は先週1日の満開。



昼食後、下りは潤沢分岐点を経由して
四辻への周回コースにした。
下山して 15 分、相模湾が綺麗に見えていた。



この下りコースは登りと異なり、岩場
や大きな石が重なりあった登山道と
なり変化がある。



下山開始 1 時間ほど下ると、雲ひとつない青空が広がり、ヤマツツジも太陽に照らされより鮮やかになった。



14:20 に出発点の登山口に戻り、駐車場で靴の泥を洗い流して、バス停にドッカと腰を下ろし、バスの到着を待つ。



バス停から本日登った尾根を見上げる。右端が万三郎岳。



16:05 伊東駅に着き、駅前の観光案内で日帰り温泉を紹介してもらった。休憩大広間を条件にしたところ、海沿いの伊東マリンタウンにあるシーサイドスパを紹介されタクシーで5分。露天風呂、サウナ、ジャグジー、薬草湯などで汗を流し、生ビールで乾杯！



温泉・生ビールで上機嫌で帰路につく。

アマギシヤクナゲは山頂付近の最後の数輪のみと、既に峠を超えたトウゴクミツバツツジを何とか見られたが、代わって、登山口から山頂にかけてヤマツツジが咲き目を楽しませてくれました。

約9 km、5時間20分（休憩込み）の歩行を最後の温泉・生ビールで締めくくることが出来ました。